

令和7年度 清水町立御影こども園の保育と教育【企画編】

保育理念

心をかよわせ、互いに響きあう、感性豊かな子どもを育む

保育・教育目標

げんきな子

- ・元気なあいさつ
- ・自分の好きなこと、得意なことを見つけ伸び伸びと遊ぶ
- ・友達と仲良く遊ぶ

やさしい子

- ・相手の気持ちを理解し、思いやりをもって接する
- ・素直に話を聞き、人の為に何かできる
- ・動植物に関心に向け、生き物に向ける優しい心

がんばる子

- ・友達と一つの目的に向けて力を合わせる
- ・失敗してもそこから学び、何度でも挑戦する
- ・身近なものに関心に向け、不思議に思ったことを探求する

保育・教育内容の充実

- ・育児担当制の導入
- ・異年齢保育の充実
- ・園内外研修の充実
- ・園評価の実施

御影こども園の子ども達

- ・父母と先生の会活動
- ・保育参観・クラス懇談
- ・連絡張の活動
- ・ICT活用による発信
- ・保護者アンケートの実施

保護者との連携

地域・関係機関との連携

- ・預かり保育
- ・地域開放事業（げんきひろば）
- ・あさひ壮の方々との交流
- ・小学校との連携でなめらかな接続
- ・中学校の職業体験受け入れ
- ・地域行事への参加
- ・発達支援センターによる切れ目のない発達支援

養護と教育を一体とした保育活動

養護

情緒の安定
生命の維持

教育

身体的・社会的・精神的発達
健康・人間関係・環境・言葉・表現

幼児期の終わりまでに
育てほしい10の姿

0・1・2歳児

育児担当制

・特定の保育士が特定の子どもの育児を継続的に行うことによって、一人一人の子どもに対して丁寧で確実な援助をする保育手法

愛情豊かな保育
応対的な保育

愛着の形成

情緒の安定

周囲への
興味・関心

自身の意欲

- ・食事・排せつ
- ・衣服の着脱など

「お世話」ではなく、発達の援助、つまり、教育的援助です。

生活と遊びの連続性と質の高い保育（保育の環境の質と保育の質の両方）が必要であるため、担当保育者同士、協同しながら試行錯誤を繰り返し、よりよい環境づくりを模索しています。